



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.649 2022.8.3

日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22
ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

志茂まちづくり協議会 3年ぶりに総会開く

四半世紀の活動を振り返り

志茂まちづくり協議会は3日、志茂ふれあい館で第12回総会を開催。新型コロナウイルス感染拡大の影響で総会を開くのは3年ぶりで、協議会創立からの活動の歩みを確認しました。(のの山けん)



まちづくりの歩みを紹介するニュース特別号

総会では、規約改正と新しい役員体制の確認の後、スライドを使って、ぼうけん会（防災生活圏促進事業を進める会）の活動や、ゆりの木公園、小柳川公園の整備など、1996年創立以来の活動が紹介されました。志茂地域でのまちづくりの歩みは、先に全戸配布された「志茂まちづくりニュース特別号」にまとめられています（写真）。

岩淵町まちづくりとの連携を

続いて、岩淵町まちづくり

参加者からは活発な意見や質問が寄せられ、私も、「災害時に消防車や救急車が入れるようにするため、志茂から岩淵町に連動する主要生活道路の整備を、新たに開始された岩淵町まちづくり協議会の活動と連携してすすめることが必要ではないか」と提案しました。

協議会や志茂3丁目防災街区整備事業、無電柱化チャレンジ事業など、現在取り組んでいる事業の進ちよくや、今後計画しているオープンハウス、住まいの相談会の開催について報告がありました。



まちづくり協議会総会のようす

無料

PCR検査

東京都による無料検査
区内4カ所で実施中

- 王子駅前公園 (王子1-7-1) ※要予約
- 赤羽区民事務所駐輪場 (赤羽1-1-38) ※要予約
- 北区役所第4庁舎駐車場 (王子本町1-4-11)
- 王子五丁目団地6号棟集会室 (王子5-2)



詳しい情報はこちらから

86号線は必要なし



埼玉大学名誉教授

岩見良太郎氏が証言

7月25日、特定整備路線補助86号線(志茂地区)の認可取り消しを求める住民裁判で証人尋問が行われ、原告側から意見書を提出していた岩見良太郎埼玉大名誉教授が尋問を受けました。「86号線の整備は必要なし」とする同氏の証言の要旨を紹介します。(のの山けん)

—先生の研究分野は何ですか。

岩見 市街地再開発や都市計画、都市の数量的分析などです。現在の日本の都市計画では、住民が望む都市がつけられていないのではと考え、「場のまちづくり」という考え方を提起しています。

都の計画は道路ありき

—「不燃化10年プロジェクト」など、東京都の防災計画についてどうお考えですか。

岩見 都の計画は、延焼遮断帯(道路)と市街地延焼の抑制(建物の不燃化)という2本の柱を相乗的に進めるという方針です。ところが、この2つが一体的ではなく個別に追求されています。本来、不燃化が進めば

延焼遮断帯の必要性は低くなるはずですが。旧建設省が出した研究報告書でも、市街地不燃化が進んでいない場所では延焼遮断帯が必要だが、不燃化が進んでいる場所では延焼遮断帯は効果なしと指摘しています。

しかしながら都の計画はあくまでも「延焼遮断帯(道路)ありき」になっています。

—志茂地区の特徴に照らしてご説明下さい。

岩見 志茂1丁目地区はもともと不燃化のポテンシャルが高い地域です。南側には北運動公園など不燃化ゾーンが広がり、5、6車線の広い北本通りは強力な延焼遮断帯になっています。北清掃工場やスーパーバリュー、なでしこ小、赤羽中央総合病院などの建物が、すでに延焼遮断効果を発揮

しています。

燃えにくさの判断基準である不燃領域率も志茂1丁目では70%超と高く、むしろ低いのは4丁目、5丁目の方です。

—都は計画の策定にあたり延焼シミュレーションを行いました。先生も独自に調査を行ったと聞きました。

岩見 都に同じソフトの貸与を求めたが断られたので、愛媛大学防災情報研究センターから入手した火災延焼シミュレータ



で検証しました。

結果は、86号線を拡幅しなくても、現道の7メートルの幅員で延焼突破は防げるということで、86号線整備の必要はありません。

住民参加のまちづくりに

—まちづくりの観点からも86号線計画の再検討を求めていますね。

岩見 旧建設省は、防災計画は最小の費用で最大の効果を生み、地域の条件に即して進めることが大事と強調しています。財政的にも地域的にも機能主義的発想を転換し、足立区関原の防災公園づくりや世田谷区太子堂のまちづくりを見習って、住民参加のまちづくりの方向に切り替えていくべきだと思います。